



サポート従事者スキルアップ講座を開催

CTF 松阪では、10月4日、18日、25日の三日間、松阪市障害者福祉センターにおいて、サポート従事者を対象としたスキルアップ講座を開催しました。

今回のテーマは『Windows を使いこなそう』でした。

日ごろ慣れ親しんでいる Windows パソコン、コマンド入力によるパソコン操作や、さらに安全に使いやすくするノウハウなど、これからのサポートに生かすことができる数々の経験を積むことができました。

8月から始まった今年の夏季パソコン講座はこれで終了しましたが、CTF 松阪では来年もこの時期に夏季講座を開催できればと考えております。テーマに関するご要望・ご意見などがありましたら、事務局までお聞かせください。

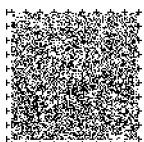
(写真はスキルアップ講座の様子)



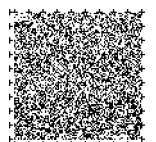
サツマイモ作りに挑戦

皆さんは、サツマイモを育てたことがありますか？私は、今年はずっとサツマイモを植え収穫しました。家の畑に少しアキができましたので、畑をおこし、排水が良くなるように畝を高く盛り上げました。不慣れな私にとってはシンドイ作業でしたが、なんとか2種類、20本のサツマイモの蔓を6月に植え終わり、草取りをしっかりとせねばと思っておりました。その後何かと忙しく8月までほったらかしの状態でしたが、やはり草取りは大事です。他の家のサツマイモ畑と比べたら葉っぱは雲泥の差で少ない状態だったので、8月に入り草取りを朝6時から出勤前まで行い3日間ほどで草を取り除きました。その後のサツマイモの成長は肥料もやっていないのに素晴らしいほどに葉を広げ、10月初旬にサツマイモの収穫を行いました。収穫してみれば、1種類は美男子でしたが味はもう一つであり、他方のサツマイモは京塚昌子さんのようでしたが、それはそれはふくよかな美味しいサツマイモでした。ただ、食後はCTF通信2月号に寄稿しました温暖化ガスの削減に反している状態となっていま

す。(メタンガスの温室効果はCO₂の21倍です。(^_^ ;)) Y.I



今月号は文字数が多いので、第1ページと第2ページ、第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第2ページ、第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





関数とライブラリ

長いプログラムを書いていくと、プログラムのあちこちで似た処理が必要になることがあります。そのようなとき、必要になるたびに一連の処理をプログラムに書き込んでいるとプログラムが余計に大きくなってしまいます。このように似たような処理を同じプログラムのあちこちに書き込んでいくと後でその処理を修正しなければならなくなったときにすべての個所で修正が必要になってしまいます。

例えば以前作成した数当てゲームで、画面の“x 回目の挑戦！”というメッセージを表示する処理を考えてみましょう。この処理は

- (1) プログラムを読み込んでゲームを開始したとき
- (2) [挑戦!]ボタンを押して当てようとした数が外れだったとき
- (3) [新しい番号を用意する]をクリックしてゲームを再スタートしたとき

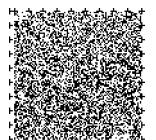
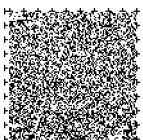
の3カ所で必要になります。この処理自体は1行で書ける短いものなのでその場その場で書き足していてもプログラム全体がそれほど大きくなるわけではありませんが、修正の必要が生じたときに事態が一変します。例えば“x 回目の挑戦！”ではなく“x 回目の挑戦です！”と表示するようにメッセージを差し替えたいときは、これら3カ所の処理をすべて書き換えなければなりません。数当てゲームはプログラム全体を一目で見渡せるほど短いプログラムでできているので、差し替えは多少面倒でも難しくはありません。しかしより長いプログラムで修正が必要な個所を漏れなく見つけ出して正確に修正するのは大変な手間がかかるのは容易に想像できるでしょう。

前回、データの入れ物として「変数」を使ったのを思い出してください。プログラムにもそれと同様に実処理を書く個所を1カ所に集中させるための機能が用意されています。それが「関数」です。変数が名前付きのデータの入れ物だったのと同様に関数は名前付きの「処理の入れ物」と考えればよいでしょう。

実際に数当てゲームでは、“x 回目の挑戦！”と表示する処理を関数として1カ所に書き、必要な個所でその関数を呼び出す構成になっています。

functionが「関数」を意味し、続くsetTryCountが関数の名前を表します。2行目以降の中カッコでくくってある部分はその関数で実行する実際の処理です。ここに書かれた“回目の挑戦！”という文字列がそのまま画面に表示されるということは想像が付くと思います。この1カ所を“回目の挑戦です！”と書き換えればゲーム中のすべての場面でメッセージが“x 回目の挑戦です！”と変更されます。

つづく



活動報告

【10月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
(5日、12日、19日、26日)

サポート従事者スキルアップ講座
(4日、18日、25日)

訪問ITサポート
(13日、16日、20日(2件)、27日)



活動予定

【11月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
2日、9日、16日
各 9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



松阪食べある記



レストラン 武蔵野

今月は老舗の料亭「武蔵野」です。といっても、老舗の味をお気軽に味わえる別棟のレストラン。モノトーンでシンプルにまとめられた店内は大人の雰囲気。お弁当から懐石料理まで、上品な味が気軽に楽しめます。

おすすめは、お昼限定 20 食のお弁当「万葉」。炊き込みご飯に天ぷら、焼き魚、煮物、赤だしなどと盛りだくさん、食後にはコーヒーかアイスクリームのデザート付きです。

右の写真は、万葉 1,050円

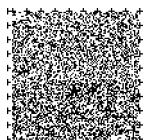
所在地：松阪市愛宕町 1-105

電話：0598-21-0634

営業時間：11:00~14:00

17:00~21:00

定休日：毎週火曜日



まちづくりの始まりは、出会いと偶然とやる気

H. H

今から 10 年前、私が大学 5 年生の春に N P O 部というサークルを設立した直後に、地元紙で本町まちづくりの会が「参宮道」という観光・まちづくりの拠点を準備中という記事を読んで、興味が湧いたので早速見学に行きました。そこでお会いしたのが、現 C T F 松阪の代表である K さんでした。

K さんにはとても親切にして貰い、そのご紹介で「宣長さん 200 年」のイベントの手伝いをしました。その過程で松阪がとても好きになり、何かまちづくりを企画したいと考えて、ネタ探しをしていると、前述の本町まちづくりの会が、阪内川に架かる松阪大橋の欄干で笹飾りをしたという地元紙の記事が目にとまりました。その時、私の頭には「松阪には七夕まつりがない」→それなら松阪の阪内川を舞台に市民発の七夕まつりを企画しようと偶然ひらめきました。そこで参考にしたのが、私の生まれ故郷の山口県周南市内を流れる東川のイベント「東川鯉まつり」でした。

その祭りとは川の兩岸からステージを架けて、様々なショーを披露する内容なのですが、一昔前までは東川は水質汚染がひどく、魚が全く棲めないドブ川でした。しかし、周辺住民による浄化活動などにより、川にはたくさんの生き物たちと住民の愛着も戻って来ました。これを松阪に当てはめて、阪内川に住民の愛着を取り戻す七夕まつりにしたいと、具体案をサークルの部員とともに練り上げて、本町まちづくりの会に提案したところ、「即、やろう」という事になり、急ピッチで準備を進めて（阪内川の清掃も）、七夕まつり in 阪内川が開催されました。

時は 2001 年 7 月 7 日（土）の夜でした。その後、七夕まつりは多くの関係者のご尽力によりパワーアップして「松阪七夕まつり・鈴の音市」となり、多くの市民に親しまれています。まちづくりとは、やはり町への愛着ですね。



編集後記

天高く馬肥える秋とか・・・
霜月になると秋も本番・・・

山も綺麗に色づき・・・
食欲も本番・・・（〇〇が心配）
少しずつ冬支度の季節です・・・インフルエンザにかからないように気をつけましょう。



CTF 通信第 92 号

2010 年（平成 22 年）11 月発行

発行者 IT を活用した障がい者支援 N P O 法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

